

第2回 宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成30年5月10日(木) 13時00分～14時30分
2. 開催場所 Cafe Ink Blue 2階
3. 出席者 審議委員総数：7名 うち出席委員数：4名
 - (1) 出席委員 大木 雄一郎、長谷川 正、長島 俊夫、岩井 俊宗
 - (2) 放送事業者側 稲葉 克明、中村 長司
4. 議事
 - (1) 番組の説明・試聴、意見交換
 - (2) その他
 - (3) 次回の開催日程

5・議事内容

- (1) 番組の説明・試聴、意見交換

①審議番組「まちへ行こう！」(出演：中心街の人たち)

提供 ミヤラジオオリジナル番組(提供なし)

放送日 毎週月曜日 15:00～15:54

番組内容 中心街の物販店・飲食店のオーナーや店長、あるいは中心街で行われるイベントの主催者などをゲストに招き、思いをお話しいただく番組。

審議対象回 平成30年4月30日(月)放送分

(事業者) 今回の放送は、番組ナビゲーターとして当局パーソナリティが1人、オリオン通り商店街(江野町)事務局から1人、さらに、別の商店街事務局からも1人、イベント主催者が1人という、4人で話している。

(審議員) 別の人が話しているのに被せて話をする人がいて聞きにくい。笑い声も不快に感じる。

商店街事務局の人は、「まちの解説者」という役割をはっきりさせてはどうか。大勢で喋っていると、誰が話しているのかわからなくなる。

(審議員) ポイントとなるテーマを共有しながら話すとうわかりやすい。

終わってしまったイベントを振り返るのも良いが、これからの話題にもっと時間を使ってほしい。告知性の高いものを取り上げ、来街者を増やしたい。

(審議員) 初めての出演ではなく何度か出ている人は、スキルアップが必要と感じる。都度指摘をしても良いのではないか。

笑い声が多いのは賑やかではあるが、うるさく聞こえる。それぞれの役割をはっきりさせたほうが聴いている側もわかりやすい。

(事業者) パーソナリティ側もまちの歴史を深くは知らない。場合によっては、聞き手に回って、ゲストの話を引き出すことに徹することも必要。

②審議番組「月曜からみやヒルズ」（出演：みやヒルズ活性化委員会）

提 供 みやヒルズ活性化委員会

放送日 毎週月曜日 20:00～20:54

番組内容 中心商店街で構成される「みやヒルズ活性化委員会」事務局がナビゲーターとして参加し、会員店をゲストに招く番組。主催するイベントの紹介なども行う。

審議対象回 平成 30 年 5 月 7 日（月）放送分

（審議員）この番組も、やはり役割分担をはっきりさせると良い。イベント紹介をしている人が、そのイベントの担当ではなく情報が薄い。イベント紹介にあてている時間は長いので、もっと狙いは何かなど、情報を厚くして伝えてほしい。紹介者が知らなかったことを、パーソナリティ側が補足する場面もあって、知識の補足はよかった。

（審議員）中心街からの情報発信は必要。いろいろな形での情報発信をするべき。みやヒルズも 11 年となるが、もっと活動をアピールすべき。

（審議員）「ミヤコス」（コスプレイベント）話題だったが、他のコスプレイベントとの違いの説明があると面白い。イベントの掘り下げ方を工夫したい。

（審議員）番組の目指すところは何か。もう少しテーマを持って話をしてほしい。有名人ではないので、普段の話をされても面白くないのでは。イベント担当者ではない人が紹介していることで、何か他人事のように聞こえてしまっているのが残念。

（審議員）コスプレイベントなど、新しいイベントも受け入れている「商店街の懐の深さ」を語ってほしい。

（2）その他

なし

（3）次回の開催日程

次回の開催は、平成 30 年 7 月 11 日（水）13 時とする。会場は追って通知する。

6. 審議会の公表方法

- ・放送で公表する
- ・書面を当社事務所に備える
- ・ホームページに掲載する

以 上